<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">２０１１(平成２３)年度　第8回
ＦＤ支援プログラム・指定ＰＪ
定例ＭＴ議事録</td><td>開催月日</td><td colspan="6">2012年2月27日（月）</td></tr>
<tr><td>場所・時間</td><td colspan="6">本館6階会議室・16時30分～18時00分</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出席者</td><td>△</td><td>小西由浩</td><td>○</td><td>藤波潔</td><td>○</td><td>平良直之</td><td>○</td><td>前堂志乃</td><td>△</td><td>友知政樹</td></tr>
<tr><td>○</td><td>佐藤敬明</td><td>○</td><td>喜世川悠</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="9">幹事：教学課 玻名城政弘、中山かつら</td></tr>
</table>

議事

【報告書作成について】

1. FD支援プログラム2011年度指定プロジェクト「シラバスの実質化」活動報告書作成案について

藤波委員より、活動報告書作成案について説明があり、次のとおり決定した。

Ⅰ．目的

1.「沖縄国際大学ＦＤ支援プログラムに関する規程」第１１条に基づく成果の公開義務を果たす。
2. 指定プロジェクトにおける議論の成果を提言としてまとめ、教務部長をはじめとする教学マネジメント関係者に提出する。

Ⅱ．執筆方針

指定プロジェクトにおいて、これまでに報告・使用した内容をテキスト化することを基本とする。

Ⅲ．内容及び執筆担当者

はじめに（教務部長）
第１章　提言：シラバスの実質化について（前堂・藤波）
第２章　指定プロジェクトの設置について（藤波）
第３章　指定プロジェクトの活動内容
　第１節　シラバスに関する政策動向（藤波）
　第２節　本学におけるシラバスの導入と展開（中山）
　第３節　他大学の事例検討
　第４節　他大学への視察報告
　　1. 琉球大学（平良）
　　2. 高知工科大学（喜世川）
　　3. 九州産業大学（藤波）
　　4. 玉川大学（中山）
　第４節　ＦＤ研修会
　　1. 第１回研修会（友知）
　　・研修会の概要（プログラム、配付資料、アンケート結果など）
　　※　当日配付資料の掲載可否の確認（玻名城）
　　・参加記
　　2. 第３回研修会（佐藤）
　　・研修会の概要（プログラム、配付資料、アンケート結果など）
　　※　当日配付資料の掲載可否の確認（玻名城）
　　・参加記
　第５節　資料
　　1. ミーティング議事録
　　2. FD通信（関係号のみ）

議事

Ⅳ．執筆要項

1．様式
・原則として40字×40行、Word形式で作成のこと。
・枚数については任意とする。(無理のない範囲で執筆してください)
・必要に応じて図、表、写真、パワポスライドなどを挿入してもよい。

2．締め切り・提出先
・締め切り　2012年3月26日（月）
・提出先　藤波までデータをご提出ください（メール添付でも構いません）

Ⅴ．編集及び公表方法

1．編集
・提出された原稿を藤波でとりまとめて編集する。
・レイアウト、疑問点について編集が執筆者に直接照会する場合があるが、基本的に校正は実施しない。

2．公表方法
(1) CD-ROM：編集後のデータを焼き付け、ラベルを貼付
・プロジェクトメンバーへの配布
・視察対象機関、Q－Links等への送付
・希望者への配布用予備
(2) 印刷物：学内印刷機で印刷の上、簡易製本
・四役への提出
・教務部長へ提出の上、「提言」部分について説明する。
・専任教員への配布
(3) Webサイト上での公開

【本日のテーマ】

1.作業1：シラバスフォーム案について
前回検討された項目を元に作成されたシラバスフォーム案について、検討する。
別紙資料を元に、追加、名称変更等を行った。
（詳細は別紙シラバスフォーム案Ver．2を参照のこと）
(1) 追加：区分・形態・カリキュラムポリシー上の位置づけ・学年・対象年次・到達目標
(2) 名称変更：講義内容→講義テーマ
より良く学ぶための勉強の仕方・内容→履修の心がまえ
(3) 入れ替え：より良く学ぶための勉強の仕方・内容→時間外学習の内容

2.作業2：提言内容（要準備内容）について
(1)　システム関係
①　システムの変更の可否　　②システム変更に係る期間及び期間
③　システム変更に係る金額（見積もり）
※システム：シラバスと時間割のリンク、シラバス確認項目の付与など
(2)　シラバス関係
①　シラバス作成要領・見本　　②シラバス作成の説明会の開催
③入力（変更）について　　④入力サポートについて
⑤チェック体制について
・提出、空白箇所、内容と段階を踏んでチェックを行う必要性について
・担当・・・チェック機能の組織的体制について
例）各種委員会（FD委員会、自己点検・評価委員会など）
⑥冊子について
※冊子として配付は行わない

議事	(3) 関連する新しい仕組みの提案について ①学生向けリーフレットの作成について ※シラバスの使い方等を説明した簡易な案内の作成 ②講義の際に配付する（詳細な）シラバスについて ③後期開講科目に関するシラバスの修正期間について ④各学部学科におけるカリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムツリーの作成について (4) シラバス作成時に注意を要する科目と責任者について ※原則して専任教員・非常勤教員とも講義の形態を問わず、同じシステム・フォームで作成すること ①オムニバス科目：コーディネーター ②集中講義科目：集中講義担当教員 ※ 夏期集中講義であれば世話役を通して6月頃に依頼するなど、方法を検討したうえで実施すること。 ③ 内容統一科目：責任者 ※ 基礎演習等、複数の教員が担当するが内容を統一している科目については、シラバスは一つとし、責任者が作成する。

※ポリシーとの関連性

［ 区分 ／ 形態 ］

科目名	期別	曜日	時間	単位
シラバス研究Ⅰ	前期			2

担当者	対象年次	
藤波 潔		オフィスアワー：月５ 研究室：5-4** E-mail：kfujinami@okiu.ac.jp

ねらい

メッセージ

到達目標

学びのヒント

授業計画

週	テーマ	時間外学習の内容
1	ガイダンス	
2	…	
3	…	
4	…	
5	…	
6	…	
7	…	
8	中間報告	
9	…	
10	…	
11	…	
12	…	
13	…	
14	…	
15	…	
16	期末試験	

学びの手立て

・履修の心構え

・発展的な学びのために

・テキスト、参考文献・資料など

評 価

出席…〇点

小テスト…〇点

期末試験…〇点

次のステージ

身につけられる能力

社会との結びつき

関連科目：シラバスゼミ
FD概論
大学関係法Ⅰ
大学経営論Ⅰ